

としょかんだより

【下條村立図書館 132号 2018年1月15日発行】

今年の冬は、12月から厳しい寒波がやってきました。1月～2月これからはもっと寒い日が続きます。雪や寒さで外出はおっくうになりがちですが、自然界では春への準備は少しずつ始まっています。人間の体も脳も使えば発達する!?そうです。寒さに縮こまらず、意識して『あたまのてっぺんからつまさきまで』動かして、体と脳に新しい風を吹かせたいものですね！

としょかん大好き家族

村松さんご一家

Part107

土曜日の午後、「今日はお休みだったので、家でお昼ご飯を食べて来ました」とお母さんの村松万理さんが、3人の子どもたちと揃って来館してくれました。平日、長女の優奈（ゆな）ちゃん（4年生・10歳）、次女の咲希ちゃん（1年生・7歳）は学校へ行っているの、午前中、長男の翔太くん（3歳）とふたりでよく来館します。

翔太くんは、つどいの広場も大好き。「つどいにもできるだけ行くようにしています。翔太は3人目だけど、男の子は初めてだからいろいろ心配で。こんなにやんちゃで大丈夫かな？と思うけど他のお母さんの話を聞くと、あゝ大丈夫なんだってわかるから」とお母さん。

万理さんはもともと本好きで、小学校時代から小説、ミステリー、漫画など図書館でよく借りて読んだそうです。結婚し子育てをするようになると、育児書を読むようになり『子育てハッピーアドバイス』のシリーズは何冊か購入し、くり返し読みました。

3人の子どもたちが赤ちゃんの頃、ブックスタートでもらった絵本は『がたんごとん がたんごとん』『がちゃがちゃどんどん』など、3人ともお気に入り何回も読んだ思い出の絵本たち。今でも『いちご』（平山和子作・画）を読むときは、「お母さんもいいよ。はい、食べて！」と翔太くんが絵本に出てくるイチゴを採って、食べさせてくれるそうです！

優奈ちゃんは、テレビで見て気に入った漫画『コウノドリ』が今お気に入り。学校で借りてきた本を、翔太くんを読んであげることがあります。咲希ちゃんは、保育園の頃大好きになった“おりがみ”の本を今日は借りました。コップ、ます、お花などたくさん作り、家に飾ったり袋に入れたりして大切にしています。

寝る前に家で絵本を読むときは、翔太くんが選んだ本を読みますが、お姉ちゃん二人も何となく集まってきて聞いています。読んでもらうのは、やっぱり“別もの”みたいですね！



もくじ

1p：としょかん大好き家族

2p：ボランティア募集

3p：下條村の本刊行！

4p：新刊ぴっくあっぷ

図書館や本に関わる ボランティアを始めませんか

小学生図書館 ボランティア

のはらうたの会

下條小学校で、子どもたちに絵本などの読み聞かせボランティアをしているのが、<のはらうたの会>の皆さんです。

平成15年度の立ち上げから14年間、会員は入れ替わりましたが、月に一回〈朝の時間〉に各クラスに入り子どもたちに絵本を読んでくださっています。

**活動内容：下條小学校各クラスで
絵本の読み聞かせ**

時 間：8：20～8：35

活動に入る前に、絵本や読み聞かせについての研修・講演会を聴講できます。絵本選びは、会員さん同士で情報交換をしたり、図書館で相談したりしています。

のはらうたの会は、新しく入っただけの方を募集中です。PTAの方はもちろん、地域の方ならどなたでも大歓迎です。興味のある方は、下條小学校までご連絡ください。見学することもできますので、お気軽にお問合せください！

子どもによる村図書館のボランティア活動

平成14年度、学校週5日制になったことを受け、小中学生の土曜日の活動の受け皿として村教育委員会が【小学校少年クラブ】【中学校クラブ】を立ち上げました。当時、図書館ボランティアもその一つとして始まりました。

以来15年間、のべ32人の小学生が図書館で毎週土曜日、おはなし会（絵本読み・紙芝居・手遊び）を上演したり、棚の整理、ポスター作りなど図書館の仕事を担ってくれています。（現在は5名が活動）

15年間のうち5回、子どもたちが企画・上演をするスペシャルおたのしみ会（絵本・紙芝居・わらべうた、大型絵本、パネルシアター、人形劇等）を開催し大勢のお客さんに見ていただきました。28年度は、村の民話を題材に、人形劇をデザイン・製作・上演しました。（人形製作・上演指導：吉澤亜由美さん）

*** 図書館では、小学生図書館ボランティアを募集しています！本が好き、図書館が好き、小さい子どもが好き、お手伝いが好きな人、まずは見学に来てください！**

Q.小学生図書館ボランティアはいつから入れるの？

A.いつからでも入れます。3年生からが対象ですが、見習い期間として、2年生から見学も可能です。



小学校昇降口正面の黒板に、平成28年度最後（3月）の読み聞かせ当日に、会員へ向け書いてくださった学校からの感謝の気持ち。

図書館ボランティアの活動

活動日	毎週土曜日
集 合	9：45
おはなし会練習	10：00
おはなし会本番	10：30
その他の仕事	11：00
解 散	11：45

図書館ボランティアのきまり

- 名札をつける ●大声でおしゃべり・大笑いはしない ●走り回らない ●自分の本を読まない
- 館内でゲーム、カード、飲食は禁止
- 欠席・遅刻の連絡は事前にきちんとする

下條村のことが 1冊の本になりました！

「喜平さ」がつくった奇跡の村」

2017年11月25日発行

峰 竜太著

幻冬舎

峰竜太の故郷・下條村を過疎から救った、「奇跡の村長」と「奇跡の村人」の物語。
「小さな村でもできる。」日本の未来へのヒントがここに！

著者紹介 峰 竜太

1952 年下條村生まれ。2013 年、長野県観光大使第一号に就任。司会・役者・ラジオパーソナリティとして活躍中。

あらすじ

“ワンマンで強権、しばしば理不尽”な村長・伊藤喜平。52 歳で胃がんを患い、胃の4分の3をカット。「おれの命は捨てたも同然だ」と、村の改革に乗り出した。子育て世代への村営マンションづくり、役場職員の意識改革とスリム化、村人たちの手による道路づくり…。過疎の村から「子どもの声が響く村」へ導いた村長の奮闘記。

図書館からのおすすめポイント

まるで峰竜太さんを目の前にして、じかにお話を聞いているような親しみやすい語り口。読みやすく、内容もわかりやすい。「下條村がこの四半世紀どのような道をたどり、現在に至るのか」が、峰竜太さんというフィルターを通し具体的に語られています。

村のこと、全国区の知名度を持つ下條村の行財政改革について知りたければ、この本を読めばわかります！

登場人物は、前村長伊藤喜平氏、役場職員、故小池恒久氏ほか村民。身近な皆さんが登場します。



1月5日の中日新聞「新刊ベストセラー」(平安堂調べ)の3位にランキング。

この本の行財政改革のモデル、主人公となられた伊藤喜平前村長より図書館へ書籍 10 冊をご寄贈いただきました。ご利用になりたい方は、お申し出ください。

利用者によるボランティア！

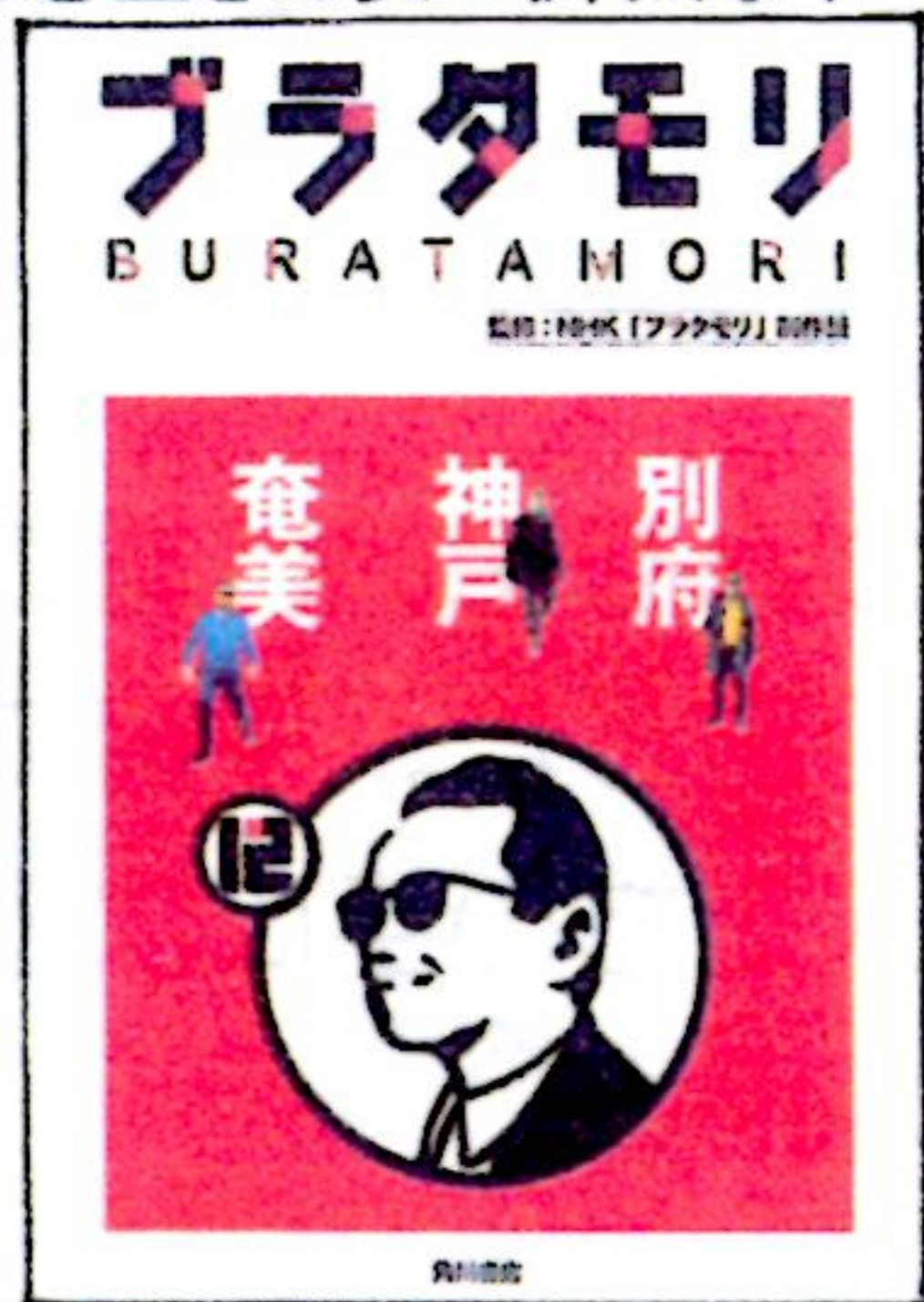


1月5日(金)、あしたむらんどロビーの壁掛け時計(高さ4~5m)の針が止まっているので、図書館職員2人が大梯子をかけ奮闘していると、本を借りに来たお父さん(井上智裕さん)と5歳の柚月(ゆづき)ちゃん、が「何やっとするの?」と心配してくれました。そしてお父さんが電池を替え時計を設置、ついでに図書館内の切れた蛍光管も2か所取り替えてくれたのです！新年早々有り難き幸せ、ありがとうございました！

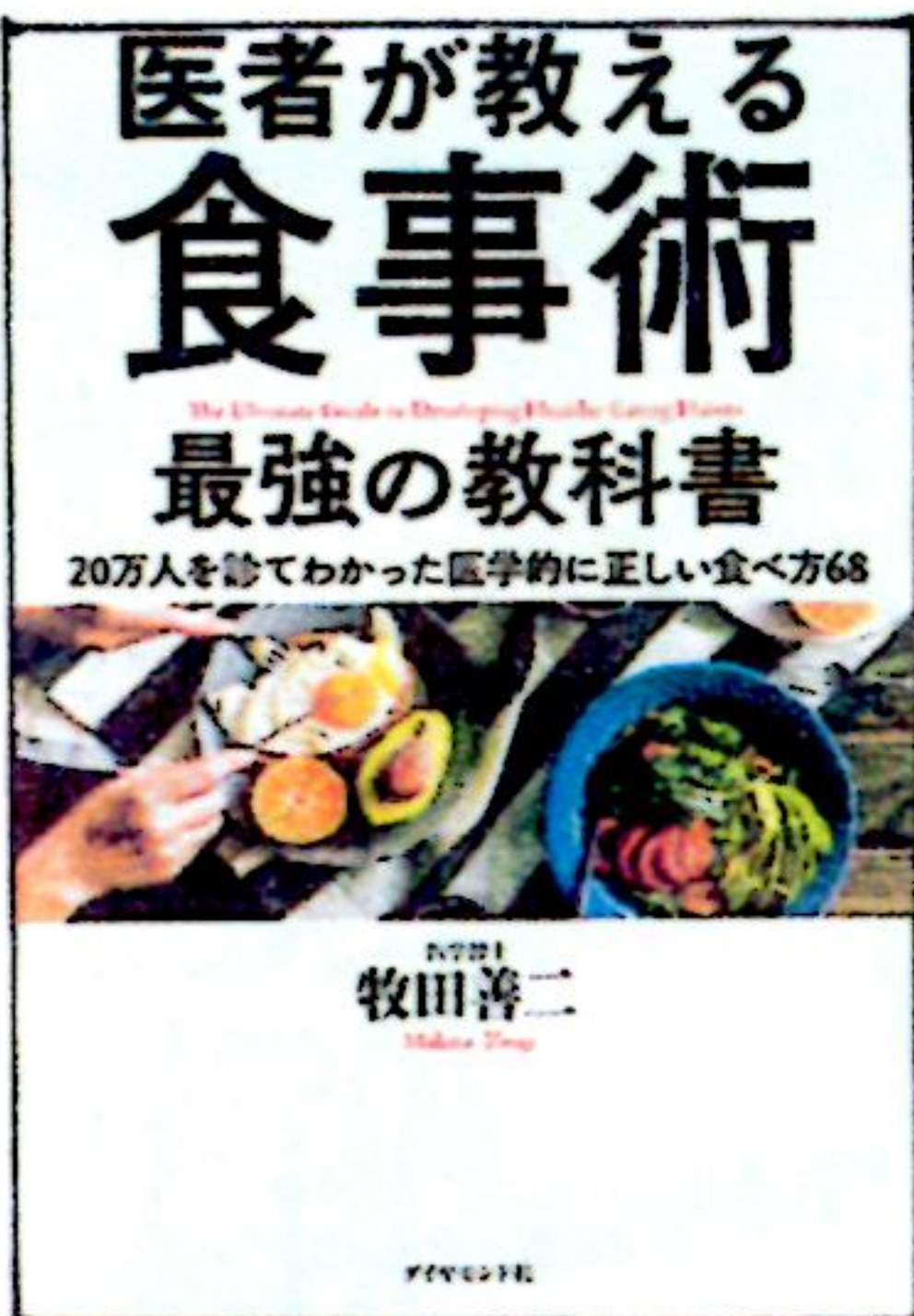
新刊 ぴゅくあっぱ



「いのち」瀬戸内寂聴著 講談社／ガンと心臓の病に襲われ、痛切な老いに直面した私。脳裏に蘇るのは、70年近い作家人生で出会った男たちと、筆を競った友の死に様だった。小説への愛と修羅を生きた女の鮮烈な「いのち」を描く。*Fセ



「ブラタモリ 12 別府 神戸 奄美」KADOKAWA／NHKの人気街歩き番組「ブラタモリ」の、本編では語り切れなかったエピソード、ロケの撮影風景の特別写真、街歩きに便利な地図などを掲載。*291フ

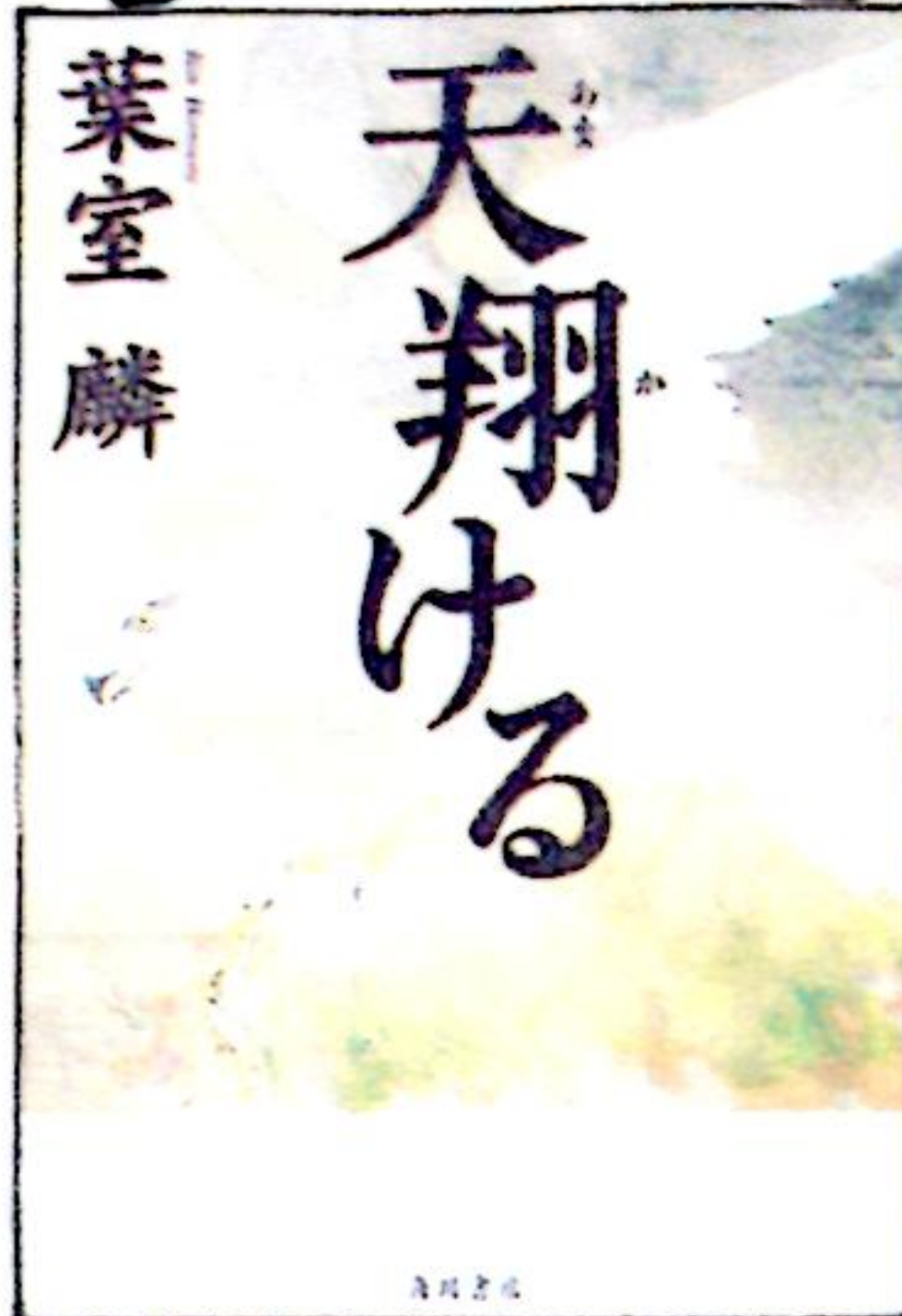


「医者が教える食事術 最強の教科書 20万人を診てわかった医学的に正しい食べ方68」牧田善二著 ダイヤモンド社／最新の医療データをもとに、食べ方を紹介。さらに、肥満、老化、病気がどのように起こるかというメカニズムを説明し、血糖値を上手にコントロールする食事術を解説。長生きの10大ルールも掲載。*498マ

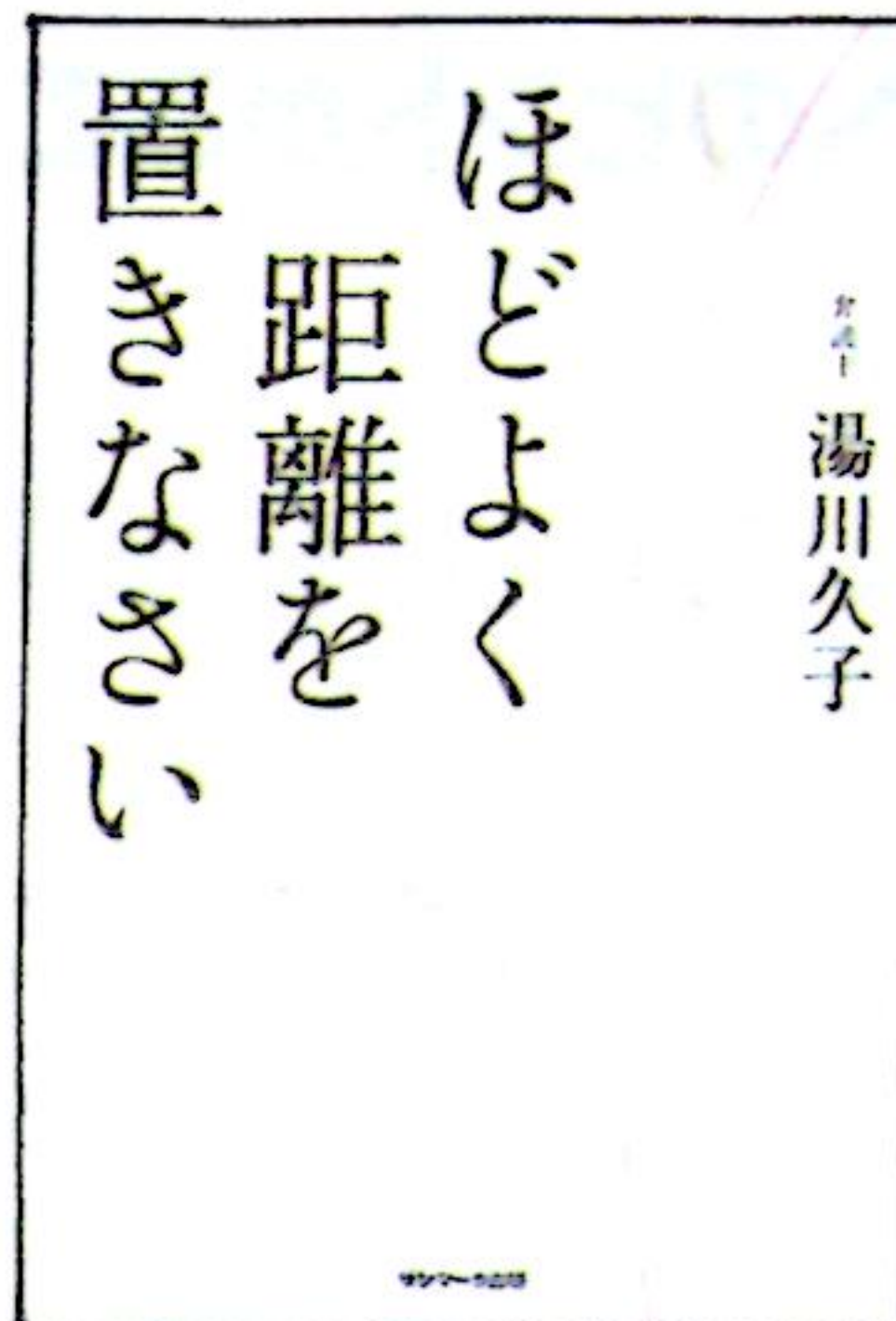


「ちょこっと楽しむ保存食 少量だから手軽でおいしい」伊藤玲子著 家の光協会／イチゴ1パックで作るジャム、保存袋で作る梅干し、冷蔵庫で熟成させるみそ…。保存しやすく、特別な道具がいらない、はじめてでもかんたんに作れる保存食のレシピを紹介する。*596

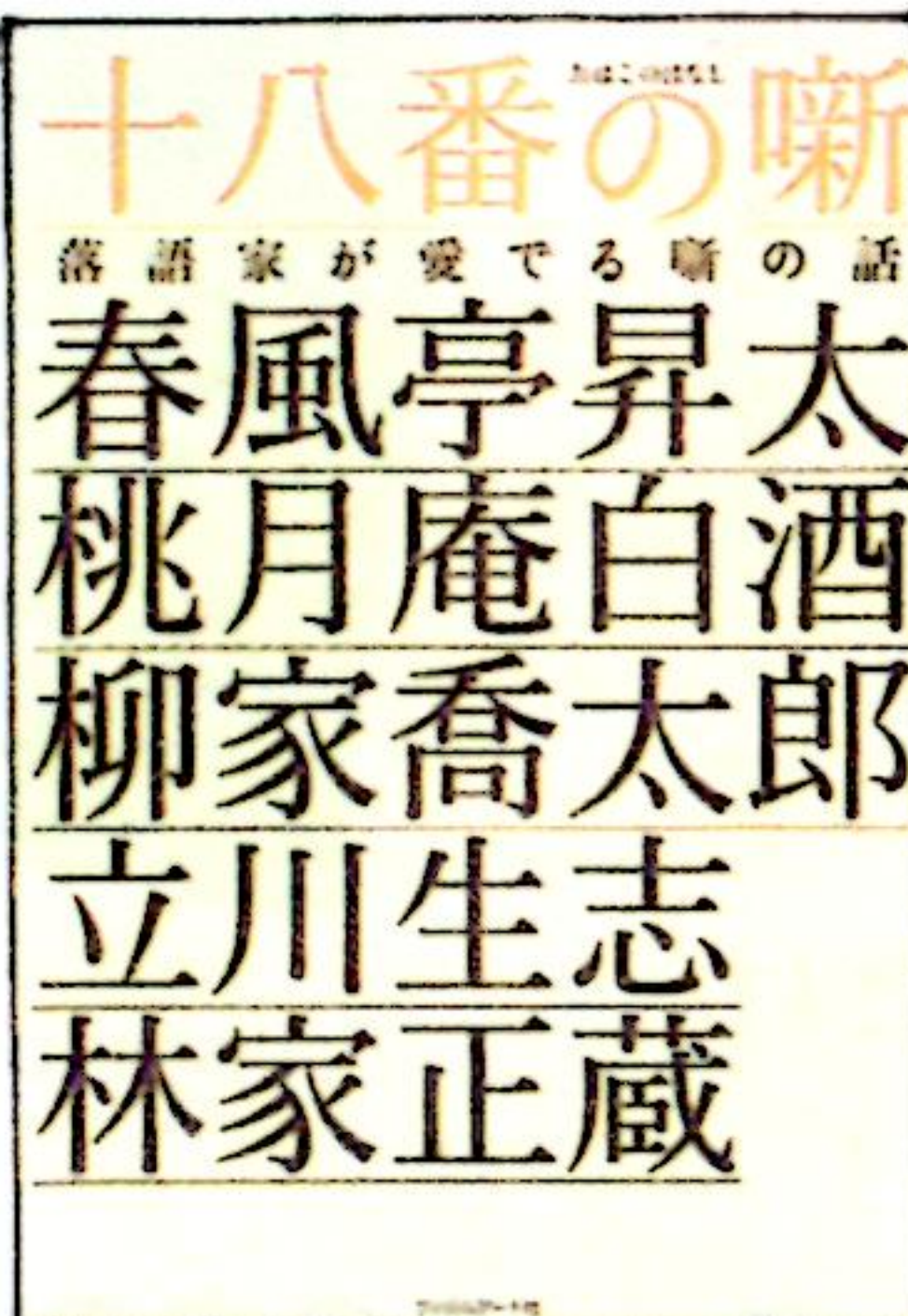
追悼 葉室麟 新刊



「天翔ける」葉室麟著 KADOKAWA／時は幕末。越前福井藩主・松平春嶽は、老中・阿部正弘や薩摩の島津斉彬ら外様雄藩と連携し、新しい幕府のあり方を模索してゆく。日本を守るため、激動の時代を駆け抜けた春嶽の生涯を描く。*Fハ



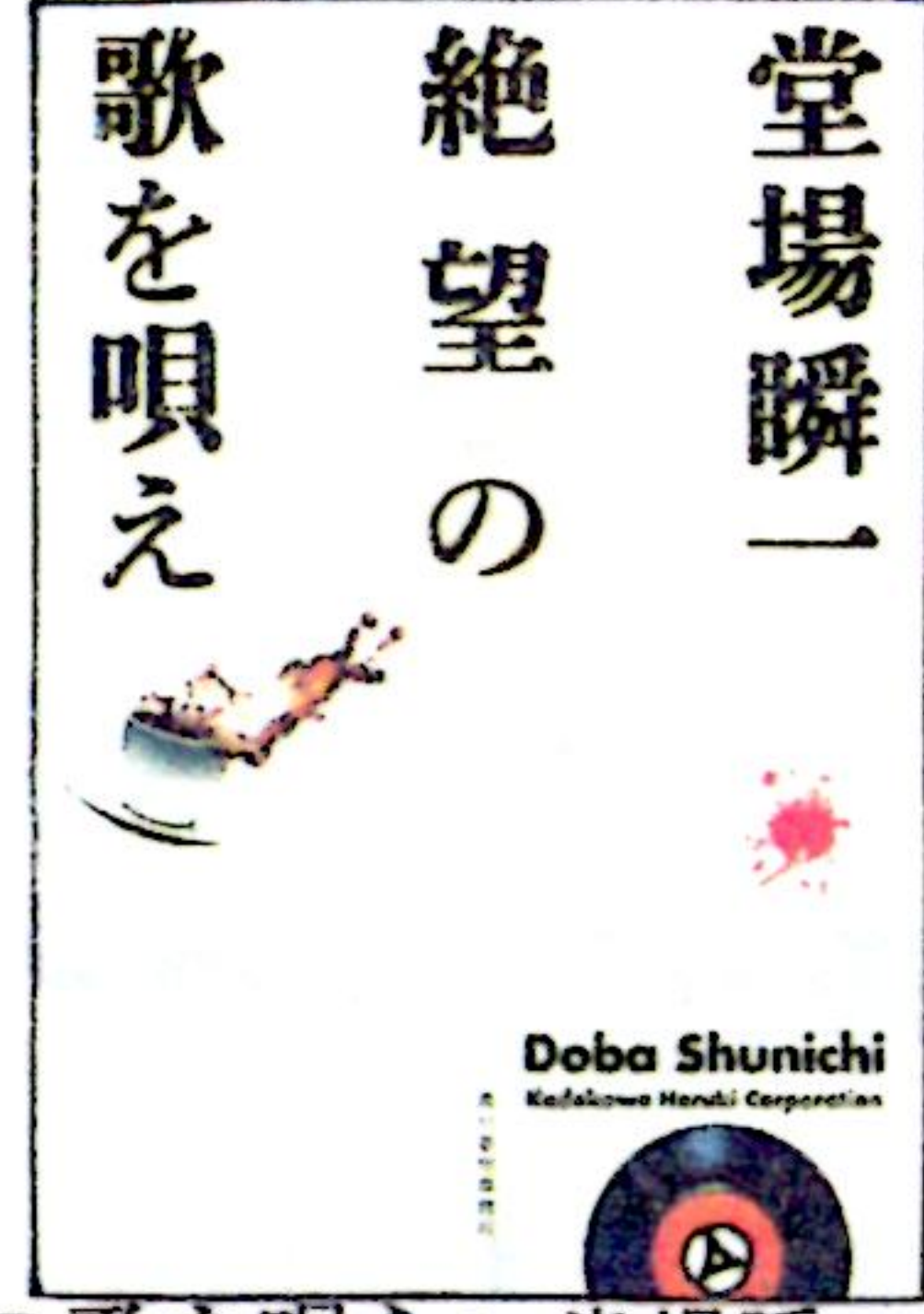
「ほどよく距離を置きなさい 90歳現役弁護士が見つけた心の糸のほどき方。」湯川久子著 サンマーク出版／人生とは、その時々で誰かとのちょうどいい距離を見つける作業の連続。90歳現役弁護士は、かたくもつれた心の糸をほどいて、心地よく人との交わりを楽しみながら生き抜く知恵を紹介。*159コ



「十八番の噺 落語家が愛でる噺の話」フィルムアート社／春風亭昇太、桃月庵白酒、柳家喬太郎…。現代の落語会を牽引する実力派真打5人と、期待の若手真打・二ツ目6人が「十八番の噺」をあげ、独自の解釈や演じる上で心がけていること等を語る。*779オ



「遊んで飾って使える折り紙 暮らしの小物から楽しいおもちゃまで」曾根泰子著 日貿出版社／お出かけバスケット、桜の器、蛇の目傘、チュリップの筆箋、変身くす玉…。遊ぶ・飾る・使う、様々な楽しみ方ができる折り紙を紹介。*754ソ



「絶望の歌を唄え」堂場瞬一著 角川春樹事務所／東南アジアで共に遭遇したテロで行方不明になった友。友を失った悲しみと死の恐怖から刑事を辞めた男。そんな折、平穏な日本でテロ爆発が起こった。刑事という過去と断絶した男が再び覚醒する。ハードボイルド・サスペンス。*Fト



「さよなら田中さん」鈴木るりか著 小学館／田中花実は小学6年生。ビンボーな母子家庭だけれど、底抜けに明るいたくましいお母さんと、毎日大笑い、大食らいで生きている…。母娘を中心とした日常の事件を、鮮やかな筆致で描いた連作短編集。全5編を収録。*Fス



「向かい風がいちばんいい」葛西紀明著 河出書房新社／「世界一の男」になるためにしていること、これまでの競技人生、不安や恐怖に勝つ方法…。どこまでも上を目指して鍛え、挑み続ける葛西紀明が、不屈のレジェンド哲学を語る。「葛西語録」も収録。*784カ



「キレイ！筋膜リリース Beauty編」竹井仁著 自由国民社／顔のたるみの原因は、筋膜のよじれ、姿勢の悪さと筋肉のバランス不良、加齢による皮膚の衰え。姿勢を矯正する筋膜リリース、リンパ改善筋膜リリースとリンパマッサージ、顔リフトアップ術を写真で紹介。*595タ